

大作戦レポート



半田市では「みんなていっしょに大作戦」を合言葉に、市民のみなさんと力を合わせて、より住みやすいまちにしていきたいことを目指しています。
このコーナーでは、さまざまな取り組みをされている市民のみなさんの顔とともに、その取り組みの様子をお届けします。

10年後、こんなまちに暮らしたい！ 高校生が提案する「これからのまちづくり」

8月21日(水)令和3年度から始まる新たな総合計画(第7次半田市総合計画)の策定事業の一環として、半田市まちづくり市民会議「高校生ワークショップ」が開催されました。

これは、市内に5つの県立高等学校があることから、未来を担う若者のまちづくりへの想いを提案してもらおうと開催されたものです。

ワークショップでは、3つのチームに分れ、「10年後、大人になった時にどのようなまちに暮らしたいか」をテーマに話し合いが行われ、「自然豊かな笑顔あふれるまち」「観光や保育が充実しバランスのとれたまち」「美しい風景や伝統を未来へ受け継ぐまち」の提案がまとめられました。



今回の大作戦でいっしょに取り組んだみなさん

市内の県立高等学校の生徒15名

半田高等学校、半田東高等学校、半田工業高等学校、
半田商業高等学校、半田農業高等学校



市長の前での発表は、皆一様に緊張しながらも、若い感性や自由な発想でまとめたまちづくりへの想いを力強く説明することができました。

最後は、『私のまちづくり宣言』として、「祭りを受け継ぐ」「半田の良さをPRする」など、まちづくりのために自分たちがしたいこと、できることを参加者全員が宣言しました。

コミュニティ・スクールの紹介

横川小学校

市内の小中学校では、「コミュニティ・スクール制度」(保護者や地域住民のみなさんと子どもたちを育てていく仕組み)を取り入れています。



8月3日(土)午後6時、蒸し暑さを吹き飛ばす元気なかけ声とともに「横川小学校区夏祭り・盆踊り大会」を開催しました。総勢150人の「横川っ子」が、地域の方が修繕した山車を勇壮に曳きまわし、保護者・地域の方と共に制作した「よさこい踊り」を踊り、「火の舞」を演じました。

地域の行事を通して支えられた子どもたちが地域に根ざし、未来の半田市に貢献できる大人へと成長してくれることが、何より大きな願いです。

